

妙安寺だより 394

6月17日「身延山」

11年（1274年）、日蓮53歳、佐渡への流罪が赦免となり、鎌倉に戻って三度目の勧告（正法である法華経を信仰すること）を行なうが、受け入れられず、のの勧めにより、波木井実長の領地である身延山（山梨県）への隠退を決めた。

5月17日に波木井実長の館に到着し、領内を巡り、ここぞという場所を見つけ、三間四面（9メートル四方、約30坪）の草庵を建て、6月17日に入った。この日を「身延山が開かれた日」として、身延山において法要が執り行われる。

現在の大本堂のある場所に移ったのは、後年、修行者・参拝者が多くなった為である。

当時の草庵の場所は「御草庵跡」として、日蓮聖人（お墓）の近くに残されている。

静かに修行ができる場所、として日蓮聖人は病により下山するまでの足かけ9年間、滞在した。

6月の行事予定

6月3日(土) 午後2時より 勉強会

お気軽にご参加ください。

* 如来寿量品第16「自我憍」練習

* 日蓮聖人の生涯 第3回「龍口法難以降」

*** 6月は18時に閉門し、閉門中は番犬を放しています。**

*** お寺への各種送金に際しては、内訳を必ず明記してください。**